

# 校長だより

福津市立福間東中学校  
校長 猪股 清貴  
平成 27 年 6 月 4 日 No13

## 生徒たちの感性に脱帽!



左の写真は2年生の教室前に掲示された「自分流枕草子」です。2年生の国語では平安時代の女流作家「清少納言」が著した「枕草子」を学習します。しばし1000年前へタイムスリップして平安時代の人々が四季折々に何を見て、どのように感じたのか想像を膨らませます。その学習が終わった後に現代版枕草子を創作しています。廊下に掲示された一つ一つの作品を読みながら、体全体が温かいものに包まれていくような心地よさを感じました。生徒たちの感性に脱帽です。よりたくさんの作品を

紹介したいので、季節ごとの景色を味わってください。

春は桜。  
開きそうなたつぼみを見ると、私も頑張ろうと思えてくる。  
桜が満開になるのは文句なしによい。  
また、花びらがはらはら落ちてきたり、その花びらで道がピンクに染められるものきれいだ。

春はたけのこ。  
たけのこが温かい陽に当たり、ぐんぐんと背が伸びてゆくのを見て、自分もまた一步を踏み出せる。土筆が一生懸命背比べをしているのも可愛らしくてよい。

夏は虫。  
きれいに鳴き始める虫たちが、自然の壮大な曲を創り上げる。  
短い命で人に嫌われていても生きるために頑張っているところを見ると、自分も頑張ろうと思えてくる。

夏は高校球児。  
頂点を目指し、真黒になりながら汗をかく青春がよい。  
雲一つない空がそれをさらに良くする。

秋は新米。  
田植えの時期から祖母を中心に懸命に育てた米を食べると食のありがたみがよくわかる。  
収穫の時の黄金色の米が風に揺られ、トンボが飛んでいるのはとても美しい。

秋は紅葉。  
遠くの山を見れば、赤、オレンジ、黄色など色とりどりに飾られているのがよい。  
また、落ち葉のふかふかしたところに飛び込むのはとても楽しい。

冬は正月。  
朝早く起きて家族とお参りに行くのはもちろん、参拝客の列に並んで白い息を手にあてる等して寒さをしのぐのもよい。  
また、親戚で集まり、ぎゅうぎゅうのこたつに入ってお雑煮を食べるのもよい。

冬は椿。  
他の草花が消えてゆく中、椿や柗（ひいらぎ）などが満開の花や実をつけ、雪の下でぐっと耐えている様子が美しくもたくましくてよい。

四季を感じながら、その力強さ、やさしさに自身を投影する者に感動を与えます。